

東北地方 1 か月予報

(3 月 1 8 日から 4 月 1 7 日までの天候見通し)

平成 1 8 年 3 月 1 7 日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

東北地方では積雪が平年を大きく上回っている所もありますので、融雪災害やなだれ等に注意してください。

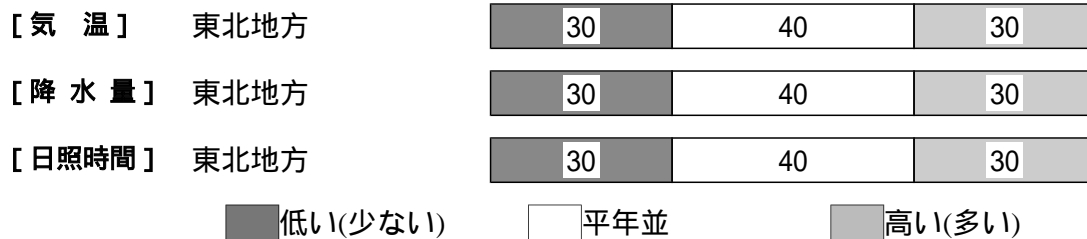
<予想される向こう 1 か月の天候>

この期間、気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

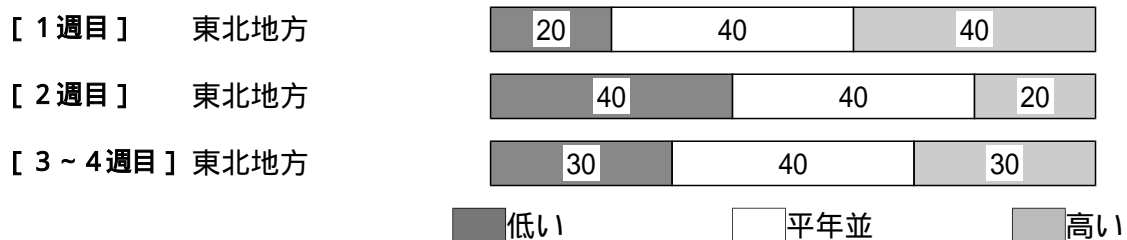
向こう 1 か月の平均気温は東北地方で平年並、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北地方で平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目は平年並か高い、2 週目は平年並か低い、3 ~ 4 週目は平年並でしょう。

<向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



<気温経過の各階級の確率 (%) >



<予報の対象期間>

1 か月 : 3 月 1 8 日 (土) ~ 4 月 1 7 日 (月)
1 週目 : 3 月 1 8 日 (土) ~ 3 月 2 4 日 (金)
2 週目 : 3 月 2 5 日 (土) ~ 3 月 3 1 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 4 月 1 日 (土) ~ 4 月 1 4 日 (金)

<次回発表予定等>

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 3 月 2 4 日
3 か月予報 : 3 月 2 3 日 (木) 1 4 時

< 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	6.3	125.4	173.7	4.0	5.2	7.5
新庄	4.9	108.0	139.0	2.5	3.6	6.1
若松	6.5	69.4	160.2	3.7	5.1	7.9
深浦	5.7	92.3	160.1	3.2	4.5	6.9
青森	5.1	64.5	174.8	2.6	3.9	6.4
むつ	4.5	80.1	181.4	2.0	3.4	5.7
八戸	5.4	56.3	188.5	2.9	4.3	6.7
秋田	6.4	108.7	167.3	3.8	5.2	7.7
盛岡	5.2	92.3	172.3	2.5	3.9	6.6
宮古	5.9	98.8	188.9	3.5	4.8	7.2
酒田	7.1	105.8	158.4	4.8	6.0	8.3
山形	6.5	68.4	166.2	3.7	5.1	7.9
仙台	7.4	91.2	188.7	5.0	6.2	8.5
石巻	6.6	86.9	192.8	4.2	5.5	7.7
福島	8.1	84.4	185.8	5.4	6.8	9.4
白河	6.8	97.0	183.7	4.1	5.5	8.0
小名浜	8.7	129.8	185.8	6.6	7.7	9.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2 ～ +0.4	86 ～ 111	96 ～ 105
東北日本海側	-0.2 ～ +0.4	87 ～ 107	95 ～ 105
東北太平洋側	-0.2 ～ +0.4	81 ～ 115	96 ～ 105

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.5 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.5
東北日本海側	-0.5 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.5
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.6	-0.3 ～ +0.5

< 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 3 3 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 % 、 4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 18 年 3 月 17 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (3 月 18 日～4 月 17 日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。なお、積雪が平年を大きく上回っている所もありますので、融雪災害やなだれ等に注意してください。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目 (3 月 18 日～3 月 24 日) :

明後日 (19 日) は、気圧の谷の影響で雨の所が多く、その後、期間の前半は冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側を中心に雪の所が多く、東北太平洋側では晴れる見込みです。期間の後半は、高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、気圧の谷の影響で曇る日があるでしょう。なお、19 日から 20 日ごろは、発達した低気圧の影響で大荒れの天気となるおそれがあります。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2 週目 (3 月 25 日～3 月 31 日) :

低気圧や寒気の影響を受けやすく、東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3～4 週目 (4 月 1 日～4 月 14 日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

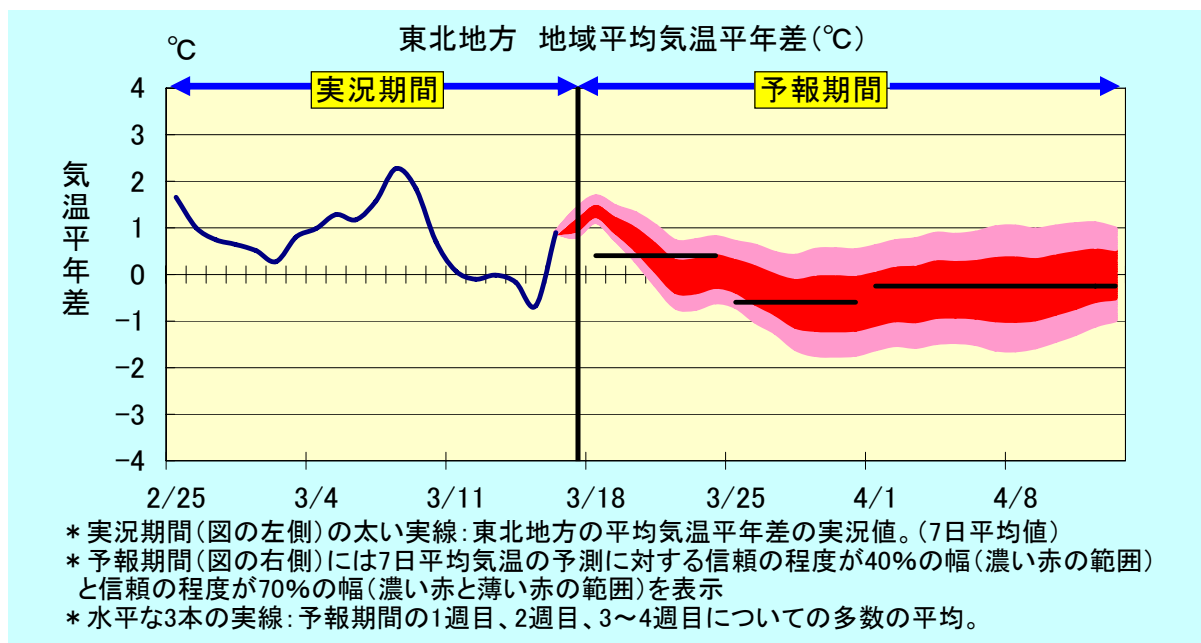
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	14.3 日	3.3 日	3.5 日	7.5 日
東北太平洋側	17.4 日	4.4 日	4.4 日	8.6 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目「平年並」、2 週目「低い」、3～4 週目「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から 1 週目を「平年並か高い」、2 週目を「平年並か低い」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

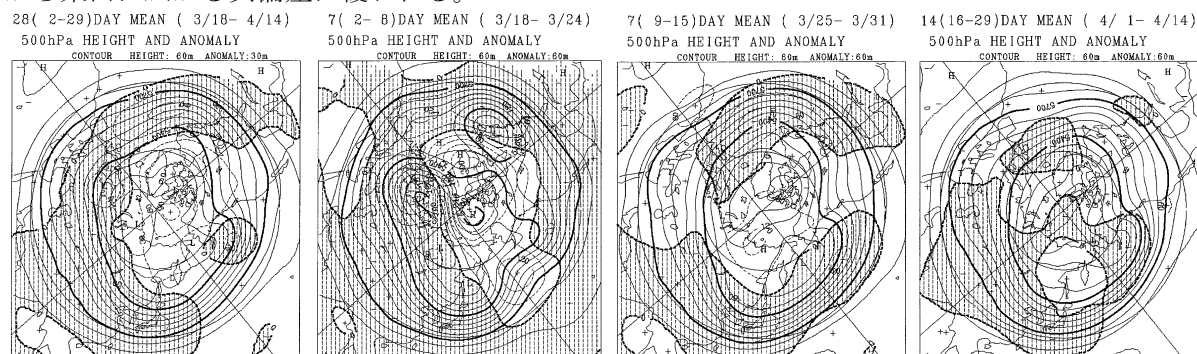


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近が正偏差（暖気に対応）、日本を含む中緯度帯は負偏差（寒気に対応）に覆われる。

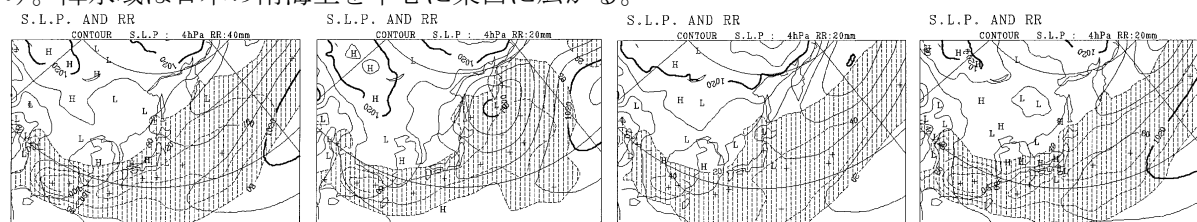
1 週目は、日本付近は弱い負偏差に覆われるが日付変更線付近に中心を持つ正偏差は強い。2 週目は、日本付近は西日本中心に強い負偏差。3～4 週目は、日本付近は北日本の一部を除いて大陸から東西に広がる負偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は等圧線の間隔が広く、低気圧と高気圧が交互に通過する見込み。日本の南海上を中心に降水域がかかる。

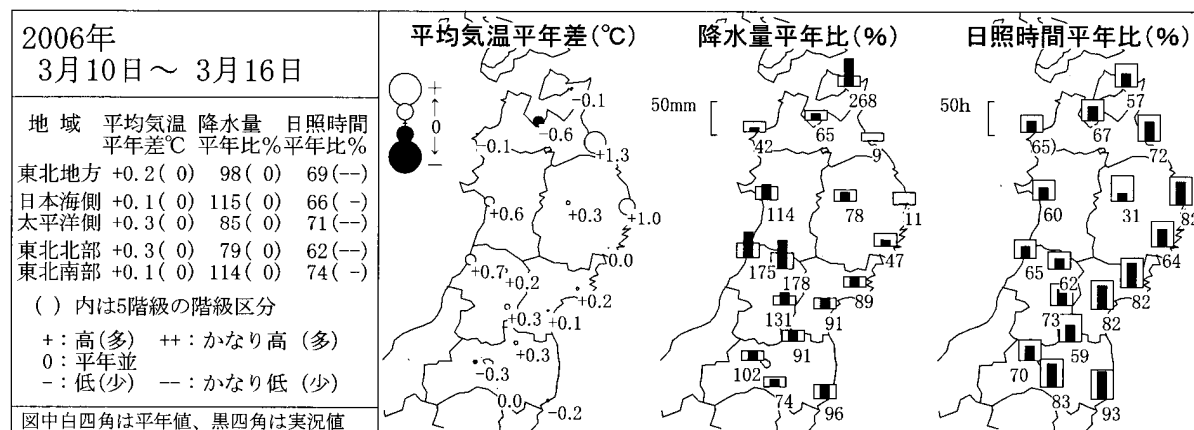
1 週目は、カムチャツカ半島付近の低圧部は強い。低気圧の通過後一時的に冬型の気圧配置が強まる。2 週目は、アリューシャン列島付近から北海道付近に低圧部があり、降水域が日本海にも広がる。3～4 週目は、日本付近の等圧線の間隔は広く、低気圧と高気圧が交互に通過する見込み。降水域は日本の南海上を中心に東西に広がる。



4. 最近 1 週間（3 月 10 日～3 月 16 日）の天候の経過

この期間、寒冷前線や低気圧が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多かったが、東北太平洋側では天気は数日の周期で変わり、沿岸部を中心に晴れの日が多かった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北北部でかなり少なく、東南北部で少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）